

第638号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2022年5月16日
発行責任者 喬木村公民館長 徹
市 瀬
編集責任者 公民館編集部 長 志
仲 田 久
印刷 龍共印刷株式会社

女団連のウクライナ支援募金

ロシアによるウクライナ侵略「ひどいよねー」この二十一世紀にこんな戦争があるなんて「ウクライナもロシアも遠くで私たちに何にも出来ないね」でも募金ならやれるよ」こんな会話から女団連で募金に取り組むことになりました。

早速ウクライナの国旗の青・黄色の募金箱を作りました。四月二三日 快く了承下さったAコープ店前で「協力お願いします」と呼びかけました。連日の報道に心を痛めている多くの皆さんがお金を入れて下さりときに小さな子どもたちの手に持たせてくれました。くりんネットでお知らせした効果もあつて届



Aコープ前での募金活動の様子

「核共有」など、政権の側から出されるのは、憲法に反し、あり得ないことです。日本の平和を守るのは、外交の力を強める事が一番です。それ以外にはないと思いたいです。その後も届けて下さる方もあり、一日も早い終息を願いながら、今後もロシア戦争ノ一の声を続けていきたいです。

パラスポーツに取り組んでいます

一般社団法人たかぎスポーツクラブ

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、過去最長期間活動停止が余儀なくされましたが、気持ちも新たに今年度をスタートすることができました。さて、皆さんはパラスポーツをご存知ですか？

の競技も障がいのある無に問わず、住み慣れた地域で定期的、継続的に運動に取り組むことを目的にパラスポーツ部門を立ち上げました。サウンドテニス(視覚障がいのある方向けの卓球。鈴入りボールを転がしながらラリー無し専用ラケットで打ち合う卓球)、杉村選手の金メダルが記憶に新しいボッチャなどパラスポーツに参加・体験できる環境作りに取り組んでいます。



サウンドテーブルテニスの様子

私は喬木で生まれ育つて数十年の喬木っ子です。喬木の自然が大好きなのですが、そのわりに休日ときたら家の中のゴロゴロ。時折父の農作業を手伝ったりはしますが、もつとこのめぐまれた喬木の自然を楽しみたい。でもどうやって？そんな迷える喬木っ子(喬木を愛する全ての人)達が教を請える大人のボーイスカウトをつくりませんか。例えば、放置された田畑を使って火をおこす。川の上流をたどって飲み水を探す。手入れの必要な森林の中で自分たちの力で木を切ってみる、学べる場所と事柄はそこかしこにあると

追加工事
「火をともしせ」——ペンネーム
追加メンマ
好き勝手を述べさせていただけました。喬木村が故郷でもとても幸せです。これからも応援したいと思っておりますので、どうぞ今のままの素敵な喬木村であり続けて下さい。

新型コロナウイルスのためにほとんどの公民館活動が止まって二年以上経過している。この間、公民館事業を行うために、感染のリスクを抑える実施方法を考えたり、様々な感染予防対策を検討したりしてきたが、新型コロナウイルス感染への恐怖心を払拭することはできず、実施できた事業は数えるほどしかない。感染対策を徹底することは当然だが、そろそろ、ある程度の感染リスクを許容し、日常を取り戻していくべき時が来ているような気がする。(館長)

喬木第二小学校 職員紹介
高階広宣 (2年担任) 梶間宏之 (用務員) 佐々木美紀子 (教頭)

喬木第一小学校 職員紹介
稲垣理佐 (図書館司書) 武藤さやか (ひまわり2) 川上 智 (4年1組) 倉科秋実 (養護教諭) 飯田知大 (1年2組) 鎌崎 元 (5年2組) 久保田晃宇 (3年1組)

喬木中学校 職員紹介
庄田秀俊 (初任研指導) 木下幸司 (用務員) 稲垣理佐 (図書館司書) 北村かをり (3年 国語) 平林菜穂 (3年 美術・保健) 片桐達司 (2年 社会) 川上沙紀 (2年 理科) 下平陽子 (事務) 奥原美希 (1年 音楽) 松崎 一 (教頭) 小松大将 (1年 技術・家庭) 湯澤多恵子 (養護)

あの時
二年ぶりに特別な行動制限がないゴールデンウィークであった。コロナ前には戻っていないが、久々に帰省や旅行で多くの人が移動したゴールデンウィークになったようだ。三月のお練り祭、善光寺の御開帳に続き、先日は諏訪の御柱の里曳きが行われた。新型コロナの感染拡大を心配し、山出しでは御柱はトレーラーに載せて運ばれたが、里曳きでは氏子たちが力を合わせて御柱を曳き、社の境内に建てることのできた。新型コロナの感染はいまだに収まらないが、お祭りなどの伝統行事を皮切りに、コロナ禍での催し物への考え方が変わってきている。

第31回

長野県市町村対抗駅伝競走大会

第17回

長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会



競技場前にて



第3区を走る松澤さん



スタートの様子

四月三十日に松本市で開催されました第三十一回長野県市町村対抗駅伝、および第十七回市町村対抗小学校駅伝へ出場しました。

喬木村を代表する選手として、中学生以上の駅伝大会では九区間中四人が高校生以下、平均年齢約二十一歳という若いチームで参加しました。

一般の部では四十三チーム中四十位、小学生の部では五十三チーム中四十一位という結果でした。今年はその記録を上回る成績を残せる結果となりました。

小学生駅伝第三区走者  
「自信を胸に」 松澤 歩実

令和四年四月三十日に市町村対抗駅伝が行われました。私が出る事になったきっかけは、友達にさ

それだからです。走るの好きなのですが、コロナが流行ってしまい学校のマラソン大会も中止となって

しまい残念に思っていました。そんな中、この話を持ち上がり、出るしかないと思いが、一五kmというきよりは決して長くないけれど最後まで走りきることができるとか心配でした。なので、かんとく、昼神さんに指導をおねがいし、他のメンバーと一緒に休日に走る練習をしました。たくさん走り、たくさんがんばり、たくさんつかれ、たくさん自信がつかれました。だから、ラストつかれてしまいました。が、その自信を胸にラストパートをかけることができました。そして、無事四区の人たすきをつなぐことができました。

結果、五三チーム中四一位、二五分四四秒でゴールすることができました。チームの皆を信じ、とても楽しい駅伝大会でした。皆さんの応援のおかげでがんばることができました。ありがとうございます。

私は初めてこの駅伝に出場しました。四月三十日に行われた市町村対抗駅伝に初めて出場し、三区を走りました。三区は、五・七二kmあり一般では、短い区間を走りました。村の駅伝より距離が長いので、走り終えた時は、とても疲れました。走っていた時は、とても、息苦しかったです。そして何人もの選手に抜かされてしまいました。それでも、諦めず

駅伝第三区走者  
初の市町村対抗駅伝 知久 哲

必死に走りました。一緒に走ったメンバーもきつと同じだと思えます。メンバーのみなさん、おつかれさまでした。みなさんと一丸となつて走れてとてもよかったです。きついこともありましたが、楽しく走れたのでよかったです。そして監督、関係者のみなさん、応援してくださった、保護者、地域のみなさんに感謝します。来年も、出る人、出ない人がいると思えますが、私は、来年も出たいと考えています。今回走ってみても楽しいと感じたので、出た時は、二人以上抜かせられるぐらいの体力をつけておきたいです。今回は、本当におつかれさまでした。

たかぎ短歌会

卯月歌会詠草

ゆくりなく妣ははからの手紙見つけたり娘への愛ひしひし伝

う 小椋 りよ

不覚にも大腿骨を損傷し入院の日々不安は募る

う 木林 睦枝

電柱に鳶のカップルピーヒョロロ仲睦まじく恋の季節か

内山 貴子

忘れずに毎朝日めぐりめぐる夫八十路過ぎて病に負け

木下 寿子

鳳仙花 『子供の科学』の付録にて今年も咲けり息子は中年に

田中 妙子

「本当の戦争」と言うもの始まりぬその隣国では五輪の大会

元島 康子

夕空を飛びゆく衛星（希望）にはいかに映るやウクライナの地

市瀬 准子

大関に昇進果たしし御嶽海ファン期待の春場所いかに

内山 和子

ウグイスの声澄み渡る朝影にウォーキングなす平和囁みしめ

知久 美子

辛夷咲く伊那の溪間の風恋し春一番も横浜は潮風

福澤 亀人

第26回 長野県現代書藝全国展

報告会を開催しました。



第二十六回長野県現代書藝全国展が令和四年一月二十二日、二十三日に松本市キッセイ文化ホールで開催され、池上華乃さん、奥村未来さん、池田あさ美さんの三名が特別賞を受賞されました。今回はその報告と授賞作品のお披露目を兼ねて報告会を

行いました。三名の皆さんは学校の部活動とは別に、真浄寺書道会で腕を磨かれており、真浄寺書道会を通じて各種書道展等に応募をされ、入賞もされています。見ていただくとおかしく、半紙に半紙に書かれた字は、とても力強さを感じます。書道にも色々な技法や書き方があり、まだ難しくても来ないものもあるそうです。一層腕を磨いていただき、今後のご活躍をお祈りいたします。

（授賞内容）池上 華乃・長野県知事賞 奥村 未来・信濃毎日新聞社賞 池田あさ美・長野県書藝協会の賞

三年ぶりに新型コロナウイルスの緊急事態宣言が出されていない状況下でのゴールデンウィークを迎えた。当村への人の流入も、昨年、一昨年と比べても増えたように感じた。

世界に目を向けると、ロシアによるウクライナへの侵攻から2か月が過ぎた。こんな時代に「まさか」という気持ちと悲しみの気持ちでいっぱいである。現在の日本の平和な生活は、先人たちの苦勞と弛まない努力のもとに成り立っている。戦争反対は言うまでもないが、この時代ただ戦争反対を唱えるだけでは安全は担保されないことも感じた。一刻も早い終結を願う。（編集部）

編集後記

＜お知らせ＞ 「喬木村の八景」を募集します。

喬木村の素晴らしい風景を後世に残すため、「喬木村の八景」を募集します。みなさんがこれと思う喬木村の風景を写真に撮ってお送りください。1枚からのご応募で結構です。（応募の枚数は問いません）ご応募いただいた中から、秋頃には八景を選び公表させていただきます。多くのご応募お待ちしております。

申込締切 令和4年10月31日（月）  
提出方法 syakai@vill.takagi.nagano.jp にメールをいただくか、直接教育委員会事務局までご提出ください。

知って始める [SDGs] (編集部)

SDGs な日々

電気はこまめに切る、出ればLEDライトに変えて行く。テレビは音を小さくして見る。出来るだけ見る時間を少なくする。水道は出来るだけ小さくしぼって使う。風呂の水は出来たら毎回かえない。



畑の水やりは雨水をためておくか、近くの川の水を使う。夜は出来るだけ早く寝る。近い所での移動は、車は出来るだけ使わず、歩くようにする。冷蔵庫は、出来るだけ食品をつめこまない。何が入っているかすぐわかるのがいい。食料も無駄な物は買わないように心掛ける。服は出来るだけ少なくする。着れる物は着る。あまりためこまないのが、いいと思う。出来るだけ弁当を作ってお持ち帰る。ゴミが出ないし、お金もかからない。携帯はあまり見ないようにする。マイボトルを使い、外でペットボトルなど買わない。洗濯は出来るだけ風呂の残り湯を使う。出来るだけまとめて洗う。出来るだけ家族は一つの室に集まる。光熱費の節約になる。そんなことをやりたい。（編集部）